

新聞書き方講座を受けて

トライやる・ウィークで書く、新聞について、  
説明してくださり、ありがとうございました。  
ます!

今回、教えてくださった内容はどれも  
知らなかったり、見たことなかったりと、  
初耳でした。

新しい知識を活用して、トライやる・ウィ  
ークが終わった後に作る新聞を  
いい新聞に仕上げられるようにがんば  
ります!

新聞書き方講座を受けて

新聞の書き方講座を受けて、エテ可るところとかタイトルの書き方などよく分かったと思ひます。レイアウトを考えたリ、どのような構成で文を作、ていくのかを考えたリで可たと思ひます。他にも東郷祭に森永先生についての記事をかいてくれたりして、イメージがわきやすくなり可した。班とかでも話し合ふ場面とか、しっかり自分で考える時間もあったから、たつた"聞くた"けし"かなく、自分の意見ももて可した。説明も分かりやすくてイラストとかもあったのでこういう風にかければいいんだと分かったし、プリントにも直接かいて可たので頭にも入って可たと思ひます。私は、記事とか文をかきことか"音手た"から少しい"や"部分もあつたけど、新聞書き方講座を受けてい"や"部分もなくなつた気がし可す。記事をかいたり、レイアウトとか考えたリするのは難しいし、大変かもし可たな"け"と聞"いた"ことを活かしてか"けた"らいいなと思ひます。

新聞書き方講座を受けて

新聞書き方講座を受けて、初めて聞いたことばかりだったので

いろいろ勉強になりました。私もトライやるの新聞(?)みた..

なのを書くと思うので新聞書き方講座で学んだことを

生かして新聞を作りたいたいと思います。あと、教え

てくださった方が「みんなとちがう新聞をつくる」という

ことを言っていたので、私も他の人とちがった新聞を作りた

いと思います。新聞をつくる時とか写真の撮り方だ

たり、写真の位置、インタビューのしかたとかいろいろなところ

にこだわってやっていたので私もトライやるの時に学んだことを

思い出してやっています!

私は新聞の書き方講座を受けて、たくさん  
工夫があると分かりました。”

逆三角形やらwzhなど初めて聞く漢字  
がありました。インタビューです丁寧語や敬

語をて、底しようと思いました。インタビュー

の写真を取る時はインタビューを受

けている人の写真を取った、三角形

を意識することが大事だと思っ

ました。後、動いている写真は連写

するということも知りました。写真を取る人

はもう自然とできているんだ”うなと

思。てすごいな”と思いました。

インタビューする時は共感などをし、敬語

を、しっかり使う、写真を取る時は、

三角形を意識する人をつかす、記事の

見出し？タイトルは話したもので、見

る人がひきつけられるような物に

することをて、底して、トライやる

ワークの新聞を完ぺきに仕上げ

ていきたいな”と思いました。

新聞書き方講座を受けて

新聞書き方講座を受けて、普段なにげなく読んでいた新聞に何個もの工夫がされていることにとてもびっくりしました。中でも驚いたのは、5W1Hが入っていたことです。5W1Hは英語の文章を構成するたぐいだなと思っていましたので、間違えたのでは?と思うくらいに驚きました。また、深夜などに起きた事件などは、すでに構成された新聞に入れたいといけないうので、大層なことだから逆ピラミッド式になっているところもすごいと思いました。今年中にトライやるウィークで幼稚園に行くので、新聞のようを完璧にできなくても、来年トライやるで幼稚園に行く一年生に少しでも分かりやすく、興味をもてるような新聞、文章に合っていて自分が働かしている様子を想像できるような新聞をつくらせていきたいと思っています。そのために、相手のファンという気持ちで書いた内容に合ったインタビューができるように工夫をしていきたいと思っています。

僕は、あまり新聞を書くということが得意ではなかったけれど、話しを聞いて、新聞を工夫して書くということが出来るようになった、たまたまきかしました。

工夫することには見出して、色を変えてみたり見ると人が興味を持ってくれるような見出しを書くことだ、文章を十五大字で次の行に行くなど、読んでいる人からそうできようか、写真などもはるといったことです。

僕は、新聞の書き方を生かして、読みやすい新聞を作っていきたいです。

新聞書き方講座を受けて、今まであまり  
気にしていなかったところまで自に向けられるように  
なりました。

インタビューについて、質問をある程度考えた  
り、相手の情報について下調べをしておくこと  
が大切なのはと反対に、構成を固めすぎない  
方がいいのは驚きました。インタビュー等をする  
時は、構成を練った方がいいかと思っていた  
けれど確かに、構成を練りすぎると、今度は、  
相手から予想外の回答が来た時、逆に  
とまってしまうし、その場で考え出さざるを得ない  
言葉や質問もめると思うので、全くフリーラン  
ジのほうがいいけれど抽象的に構成を練る  
方が自然はインタビューにはいいと感じました。

新聞を書くときには、読み手の印象に残る  
ように新聞を作ることも重要で、見出し、文章、  
写真、色、文字の大きさ、形、フォントを読み手に  
誤解を与えないようにインパクトのある新聞を  
作ることを知りました。

インタビューから新聞作りまで頑張ります。

新聞書き方講座を受けて

新聞書き方講座を受けて、新聞をつくるために、たくさんの方が教えてくれたのだなと思いました。相手のリズムに合わせて、質問は3つ程度だったり相手に配りをするのが多かったですなとも感じました。でも、こっちがインタビューする側だから、そういう配り方はとても大事だと思いました。質問も、6W2Hが大切だと言って、確かに森永先生にインタビューしている時に自然に6W2Hを聞いていたので、すごいなと思いました。

自分も、三好さんみたいに上手に出来るか分かりませんが、この新聞書き方講座を通して、少しでも上手にライヤルの記事が書けるように、頑張りたいなと思いました。



新聞書き方講座を受けて

今回の講座はとてもよかったです。みんなに問題を出して考えさせたり、実際に記事を作ってくれたので分かりやすかったです。新聞を作る時に工夫する所や、注意する所も、スライドを使いながら丁寧に教えてくれました。僕たちも6月にトライやるウィークに行っているいろいろな経験をしてきます。そして、それをまとめるための新聞を作ります。小学生の時に新聞を作ったことは何回かありますが、どのように文章を作っているかはあまり分かりませんでした。でも、今回の新聞は講座で習った記事の文章の作りかたなどをしっかり利用して作りたいです。あと、まとめるだけでなく自分なりに何か工夫などをして見やすく、おもしろい新聞を作れるようにしたいです。

## 新聞書き方講座を受けて

私は新聞書き方講座を受けてみて、新聞記者は多くの人々に正確な情報を伝えるために、取材をしてコミュニケーションをとったり、記事の内容や見出しを工夫する事がとても大切なんだなと思いました。インタビューをする際は「いつ・どこで・誰が・何を、を意識して質問し、相手の話をしっかりと理解して聞き上手になるのが大事だ」ということを学びました。記事を書く時も、「何が大切か、何を伝えるべきか」を考えて、文章の内容や新聞の構成までこだわっていて、たくさんの人たちに分かりやすく情報を知ってもらえるようにしているところが凄いなと思いました。新聞の見出しも理解しやすいように短い言葉で表していたり、そのニュースの情報を具体的に説明して、読者が「なるほど!」となるような読みやすい記事を書くことの大切さを知って、私もさまざまなところから色々な情報を知り、皆に読んでいて面白いと思ってもらえるような新聞をつくりたいと思いました。人に会って話を聞くだけではなく、資料や本を見て調査してみたりすることや、自分が思ったこと・喜びを言葉で表現したり、記事の字の大きさや色、形もその話題に合わせて表現してみるということも、新聞のいいところだなと思いました。文字ばかりだと読みづらいので、イラストや写真を入れて、より分かりやすく読者も理解しやすいと思いました。自分が書いた新聞を皆に読んでもらって、情報が知れ渡り共に共感し合えるのも記者にとっても嬉しい事なのかなと思いました。

## 新聞書き方講座を受けて

新聞の書き方講座を受けて、新聞の書き方によって伝わり方が違うことや見出しを大きくすると良く分かることを知りました。新聞で見出しがなかつたう何の記事が分かりにくく、とんちんかんに書いてあるか分かるないので、見出しを大きくするのは、大切だと思いました。伝わりやすさや、とんちんかんに書いてある文章が分かるようにすることも分かります。

新聞には、写真を載せることも大切だと思いました。その新聞に載せる写真は、普通の写真ではなく、その新聞の記事に合う写真をとることが大切だと分かりました。その写真がなれば場面や人物も分かるので、ハウ写真をとることも大切だと思いました。

記事・見出し・写真が揃って初めてその新聞だと思えます。

## 新聞書き方講座を受けて

小学校のときに何回か総合や、国語、社会で新聞を書いていたんですけど、神戸新聞の方の話聞いたことが今回始めてだったので、新聞を書くときにどんなことに注意すればいいか、レイアウトはこんなふうにしたほうがいい、見出しの書き方などたくさんのことを教えてくださって、小学校のときに書いた新聞と比べながら見ている、新しい発見があったりなど、とてもたのしかったです。

やっぱりプロの人が書く新聞はすごいなと、改めて思いました。とくにすごいと思ったのは写真の撮り方です。写真を撮るときは撮りたいものを中心に撮るのではなく、ずらしすぎて撮ったり、色んなコツがあることにびっくりしました。私は普段から写真を撮るのが好きで、よくスマホで撮っているのでめっちゃ勉強になりました。私は普段、あまり新聞を読んでないので気づかなかつたけど、新聞には作っている人の思いや考え、エッセンスが詰まってるんだなと思いました。私がトライやるウィークのときに書く新聞はプロの人ほど上手くないと思うし、むしろプロの人から見ると下手なくらいだと思うけど、今回学んだことをいかして、自分なりに、読む人に内容がしっかりと伝わるような新聞を書きたいです。

新聞書き方講座を受けて

私は、6月のトライやる・ワークで、事業所の方々に取材したり新聞にまとめたりする時に、学んだことを活かしたいと思います。

取材をするときは、先にいくつか質問をきめて、流れを考えて聞いていきたいです。

新聞を書くときは、絵や資料、写真などを使って、分かったことを要約し、分かりやすい新聞にしたいと思います。

トライやる・ワークが終わっても、習ったことを思い出して活用したいなと思いました。

新聞書き方講座を受けて

新聞書き方講座を受けて、とても新聞  
をかすのが「難しいんだ」なあとおもいまし  
た。

その理由は文字とかの大きさとかを  
考えて書かないといけないう、文字もきれい  
にかかなくていいから「難しいんだ」  
と「思ったこと」です。

新聞書き方について、とても書くのを  
の意識で書かないといけないうまで思っ  
たけど、やってみたらたぶん「難しい」とか  
かあがるので「早くトライするの新聞を  
書いてみたいと思いました。」

僕は、新聞をかすのが本当に、  
にかかるといって新聞を書けるが  
不安になるけど、しっかり新聞をあきらめ  
ず、しっかり考えて自分なりの新聞を  
のり書いてみたい、まじかえすに  
しっかり書いて、きれいに、おだしなみと  
かきれってかいてみたいとおも  
いました。

新聞書き方講座を受けて

ぼくは新聞書き方講座を受けて思ったことは、文章内での使う言葉を選ぶことがあたら面白いなと思いました。新聞のタイトルの内容にあつた文を作ることが大変だと思ったからです。ほかにもタイトルを考えることも難しくてすかに思いうかばないと思います。自分が伝えたい内容にあおせたものを作り、そこから読み手のことも考えるととても難しいと思ったからです。

インタビューの時では、先になにをするか、なにを質問するかなどの事前準備が大変だと分かりました。

そしてインタビューの本もは大事な所、日付、質問する人の名前、質問の答えをしっかりと聞いて、分からないものは、素朴な質問をしてより理解を深めて、すばやく簡潔にまとめる必要があると分かりました。

実際にトライするワークでは自分が伝えたい内容の質問を考え、その答えをわかりやすく、ていねいに新聞づくりをしていきたいです。

新聞書き方講座を受けて

大は新聞業社の人がいろいろ話してくれるまでなれもわかるよ  
と。けど新聞業社の人いろいろ話してくれる分には、  
分かるように自分の作文とかを書くときは、いわゆる事をおま  
りて書けるように頑張りたいです。



僕はお話を聴いて、多くの事を学びました。新聞についてもそうです。他にも、トライやるとは、や仕事の大変さや大切さも学び、事が出来ました。お話を聴く中で、新聞について、こうやって書いたらよいのかだとか、こうやって工夫するのかと思う場面も多く、インタビューについても、たくさん「なるほど!」と思う場面がありました。お話を聴いた事で、トライやるへの考え方も変わり、よりのトライやるを真剣にやる。そんな気持ちになりました。僕はこの人ライやるで体験し、学んだことを、うまく新聞にまとめられるとよいなと感じました。お話を聴く前だったら、それが「叶っていいからたかもしねんが」。細かく、分かりやすいよう説明して、くださおかげで、うまくよい新聞が作れるのではないかと考えるほど、に新聞について、分かりやすく、多くの事を学ばせていただいた事に感謝しかありません。

新聞書き方講座を受けて

取材をしたりして、新聞をかけた  
いいことが分かった。いつ、どこで、  
なにをしたかを考えればいいことが  
分かった。テーマに沿った記事を  
たり、見出しをかくときは大きな文字  
でかけた方がいいことが分かった。いろ  
んなことに関心をもてばいいこと  
が分かった。

新聞書き方講座を受けて

私は、新聞書き方講座を受けて、新聞やインタビューのテクニックやトライやるウィークの目標なども知ることができました。働くことの意味や、トライやるウィークに行く意味を学びました。そのことから私は、自分に合う仕事や夢を見つけたいと強く思いました。そして、インタビューでは、ただ聞くだけではなく、相手のファンのような気持ちで行ったり、漢字をまちがえていないか相手に確認したりなど、インタビューにも工夫があるのだと、初めて知ったし、トライやるウィークで行く場所の人にも、空いた時間に、講座で習った、インタビュー術を使ってインタビューをしていきたいです。さらに、写真のとり方ではトライやるウィークでは写真をとる機会はありませんが、私生活でどんどん教えてもらったことを使ってきれいな写真を撮りたいです。最後に新聞のレイアウトには、写真の位置や見出しなどの工夫がたくさんあり、トライやるウィークで新聞をかいた時にも、このような点を意識してかいていきたいです。わざわざ学校に来てくださり、ありがとうございました。

新聞の書き方講座を受けて、存とかに  
 もしもくほうが人ったらそれで「新聞が」出  
 来ていても新しくわくをつくらないとい  
 けたいという二とかわかりました。ちん  
 と考えて新聞をつくらない相手にもつ  
 たわらないしもしだいいめいがかつたらはっ  
 としない新聞でないうかが「頭」にはい  
 てないと思ひました。たいいめんがま  
 んとしてたらたいいめいを讀んだ「て」  
 で「た」いた内容がわかると思ひました。  
 「大字」の色や形とかで印象が変わる  
 ことがわかりました。たとえば例に出してく  
 たみた「かまくら」という字でまたたか「字の色  
 にしたら「かまくら」か「かましていたから色とか  
 形とかで「印象」がかわるんだ」と思ひました。  
 Xの取り方とかも適当にXを取らんじや  
 なくて自分のわかりやすいようにと聞きまち  
 がえとかをないうにしていてお「かったです。  
 トライやるウーケの新聞でも形とか色とか  
 新聞の書き方講座でまなんだことをいひま。

新聞書き方講座を受けて

私は新聞を書いて、えらばれたことがあるけど、

今日、レイアウトの仕方とかを聞いて、ただ「ただ」

書くだけじゃダメだよねと思いました。

インタビューの仕方では、自分もすぐ「しゃべってし

まうタイプで話しすぎたよ」というところを

気をつけたいと思いました。

6W2Hも気をつけたいです。その理由は、

6W2Hが「よい」と話が「こうせい」で「よい

と思うので、この辺りに考えて文を作りたいです。

自分が「インタビュー」する相手に対して、ファクトとい

う感覚で、聞かのは、あんまり簡単なのかい??

と思いました。

写真をつくることで「たしかに」より、

わかりやすくなると思います。

新聞なのでどうすればいい... と思う?

とにかく話を聞いて、写真も大事

なんだと思いました。

トライアルワークで新聞を書く時は、

・レイアウト・見出し・写真を大切に考えて、

書いていきたいです。

新聞書き方講座を受けて

私は新聞の書き方講座を受けて思ったことがあります。

一つ目は、新聞の書き方です。小学校の時、総合や他の授業の時に新聞を書くことが何度もありました。そのために、どうやって見出しをつくるのか、どうやって、みんなに見てもらえるかがよく分からず、苦戦していました。でも、今回の新聞の書き方を聞いてみて、少しずつ分かってきた気がしました。

二つ目は、写真についてです。私も写真はよくとるほうなんですけれど、上手にとることができないし、近くの人にカメラマンも写真のとり方についてくわしい人もいません。だから今回、写真のとり方について物や人、植物などは、三角形のイメージを立てて写真を撮ると、上手にとれると言っていました。なので私も次写真を撮る時がきたら、三角形のイメージを立ててとってみようかと思っています。

今日来てくれた、新聞記者さんのおかげでトライアルコーナーを書く新聞は上手に書けると思いました。

私は、前までは新聞を書くのが好きではなかったけれど、今回の新聞の書き方講座を聞いてみて、少し新聞に興味をもちました。

らW/Hを、文章にできるだけ入れると、わかりやすい文になると知って、次、トライやるウーの新聞を、かく時にやってみようと思いはました。私は前まで、インタビューをする前に、しっかり、下調べをした方がいいかと思っていて、17、20がちかちかしらべていたけれど、あんまり、しっかり調べない方がいい、いい、インタビューになるってわかったので、これから、そんなにかちかちにしらべず、Bんわり調べて、インタビューはいいと思うと思いはました。私はあんまりぐいぐいしゃべるって方がいいので、インタビューの「聞き上手」にはなれそうだと思います。だから、今から、友達とかの話も、しっかり聞いて、良いリアクションをとれるように、がんばって、将来、インタビューする仕事とかにもしたいなともしても、たいおうできるようにがんばってみたいと思いはました。インタビューは、あんまり、やったことかたないなあってないけど、今、できる事は、聞くのを上手にしてリアクションをしたり、そこから、話題について、話をひろげられるようにしたいと思いはました。

新聞書き方講座を受けて

私は小学生の時の新聞をかき授業が得意で  
けうこう好きでした。でも、今までは新聞のはい置  
などは考えずかいていたので今回の新聞の書き方  
講座を受けて、新聞は大事な記事を  
どこにどう置くかを工夫していることをはじめて知り  
今まで作ってきた新聞は何も工夫していなかったなと  
思いました。

新聞の書き方講座を受けて、いままで全然  
ふれてこなかった新聞のことや書いている人が  
どんな思いでどう工夫しているかが分かったので  
よかったです。

これから、トライやる新聞を書いませすが見出しや  
はい置を工夫しながらかいて、昔かいたのと  
見比べてみたいと思いました。

これからは、たまに新聞を読んでみようと思っ  
ました。



小学生のころに新聞を書いたけどそのときはよく  
くわしい書き方などがよく分かっていなかったけど講  
座を受けてより深い音階までの書き方を矢口るこ  
とができました。

写真をとるときにも真正面から撮るのではなくいろ  
いろな場所や角度から撮るということが始  
めて分かりました。僕はずっと正面からしか撮って  
いなかったからこれからは講座で習ったことをい  
かしていきたいと思います。

新聞作りやニュースなどで重要な5W1Hを始  
めて矢口りました。トライの後の新聞作りでは最も  
5W1Hを意識しながら作りたいです。

新聞の書き方講座を受けているいる分からはなかつた  
ことが分かるようになったのでこれからはいかしてい  
たいです。

新聞書き方講座を受けて

インタビューは とても重要なんだと思  
い直しました。

インタビューでしっかりとした

内容を聞かないと新聞が書けな

いから とても重要なんだと思

直しました。

インタビューに色々な手順や

仕方などがあることを

今回の説明で初めて知り

ました。新聞の作り方

も色々あることを知り、

どのようにすればきれいに

見やすい新聞を造れるの

かを教えることができました。

まだまだ知らないことが

あると思うのですが、と新聞に

ついて知りたいと思直しました。

僕は新聞書き方講座を受けて、新聞を読み  
やすくする方法など"を学びました。

僕が一番印象に残ったことは、せじまさんが  
写真をとっていたところでした。

僕は、写真など"で新聞の内容"が伝わり  
やすいと考えました。

理由は、写真は、その場でとった写真が使われる  
ので新聞を読んだ人は、その記事についてのイメ  
ジが生き生きしていると思います。

そして、写真を撮る人が写真を撮ることで、  
キレイに写ると思います。

このように、新聞に写真は、必要なこと"など  
いうことをあらためて知ることができました。

他にも、文章の構成やその良いとり方、など"  
を教えてもらったので、次、自分で書く時は、

ぜひ、この新聞書き方講座を受けての内容を  
思い出して、僕も、良いその取り方など"を利用

して、トライするワークで教えてもらったこ  
とを新聞にして、しっかりと伝えるように書き

たいと思います。

## 新聞書き方講座を受けて

私はこの新聞書き方講座で2回当たりました。当たったときにちょっと言葉が詰まったりしたら、質問を少し崩したりして、答えやすくして下さって、やっぱりさすがインタビューに慣れているなど実感しました。スクリーンを使った説明もわかりやすく、例え話も面白くて退屈しない2時間でした。森永先生へのインタビューのときも、短時間で見やすく、わかりやすい記事ができて、すごいなと思いました。小学生のときの新聞作りではあまりレイアウトなどを気にせず、教科書の真似ばかりで自分なりの工夫はできていませんでした。ですが、この講座を受けて、見出し・レイアウト・内容・写真など小さなことでも工夫を続けたり自分のものになって、他の誰とも違う自己流の新聞になることがわかりました。私はあまりインタビューが得意ではないですが、こぼれ話などもしっかり拾って自分だけの新聞を書こうと思いました。

新聞書き方講座を受けて

まずインタビューにも工夫があると分かってびっくりしました。聞き方やどうやって質問するかなど知らない工夫がいっぱいあってインタビューだけでもいろいろな工夫がされてあって大変だと思いました。

書き方は、トップしかに写真をおいたりして文章だけでは伝わらない所も写真で伝えるように工夫したり、文章だけではあきるのでいろんな場所に写真をおいてあきれず読めるし読みやすいように見出しや文章を短く分かりやすくまとめたりするだけで素晴らしいと思いました。まとめて文章を書くだけでしんどいのにもいろいろな工夫やこだわりを感じてすごいいと思いました。

文字のミスとかも注意しながら書いているのでどれだけの工夫があるかが分かってしんどいのはあきらめず頑張っているのでも自分も新聞を書くときに工夫して書きたいと思いました。

新聞書き方講座を受けて

新聞の書き方講座を受けて、当たりまえのこと、重要なこと、気をつけることを学びました。この3つのことは、今も新聞を書いている人でも心がけていることなので、とても大切だと思いました。

それに、インタビューにも技術が必要だといふ分かりました。それは、話ること、書くこと、聞くこと、の技術です。インタビューをやっていくうえで欠かせないことだといふ分かりました。

この先実際にやるかも知れない職業について話を聞いてとても勉強になりました。

新聞書き方講座を受けて

私は、新聞の書き方講座を受けて、手順がいっぱいあるんだなと思いました。聞く前では難しくはないんじゃないかと思っていたけど、聞いた後は、下調べをするや、パソコンの姿勢でインタビューをするなど、いろいろなものがありました。まとめ方も難かしくて、どうしても入れないといけないニュースは無理やりつめ込んでまで新聞に入れるということが分かりました。見出しを考えるのが難しいと思いました。理由は読者がこの記事を見たいと思えるような見出しにしないと入れないからです。いふことで"な"の事を見つけてそれを見出しにしないと入れないので、そこも難しい所だと思いました。何回かだけ新聞を見たことがあるけど、内容に合った写真がはかっているか"か"と思いました。まだまだ知識はたりないけど、少し新聞に興味を持つことが出来ました。私は教えていただけただけのことを、トライやるの記事として一生懸命書きたいと思いました。

私は、+年のときに二年生のトライやるワークについてまとめた新聞を見て書き方がうまいと思っていました。私は紙に書きまとめることが苦手なのでうまくできる自信がありませんでした。また、家で新聞を買っていないので新聞を書くことに自信が全然ありませんでした。しかし、今回新聞の書き方講座を受けて、どのように書くか教えていただいたり、大事なポイントを教えていただいたりして、少し新聞を書くことに自信を持ち、楽しむようになりました。

トライやる・ワークについての新聞を書くとき教えていただいたことを意識して、新聞に書きまとめようと思いました。